

News Release

株式会社ワールドホールディングス

～新生シリコンアイランド九州の実現に向けて～ インドネシアの工業系人材活用における連携協定

当社の連結子会社である株式会社ワールドインテック(代表取締役社長 栗山 勝宏、以下「ワールドインテック」)は、2025年10月15日に、株式会社ふくおかファイナンシャルグループ(取締役社長 五島 久、以下「FFG」)等を含めた5機関で、九州における製造業(主に半導体産業)の人材課題に対して直接貢献し経済発展に繋げるべく、インドネシア人材活用の連携協定を締結しましたので、お知らせいたします。

【連携協定機関】

- 株式会社ふくおかファイナンシャルグループ
- Yayasan Mitra Industri Mandiri(インドネシアの職業専門高校を運営する財団)
- Yayasan Mitra Global Mandiri(インドネシアの工業系職業大学を運営する財団)
- PT WORLD HORENSO INDONESIA(インドネシア政府公認送り出し機関)
- 株式会社ワールドインテック(人材派遣)

FFGでは熊本県を中心とした半導体企業の投資が拡大する中、FFG3行(福岡銀行、熊本銀行、十八親和銀行)で半導体ビジネスを強化するため2023年10月に専門部署を立ち上げ、資金支援はもとより、半導体関連企業に課題・ニーズの把握を行ってまいりました。FFGが半導体産業を中心とした「製造業」に貢献するには、人材不足の課題を解決していくことが、九州経済の更なる成長に資する取組みに繋がると考えています。

そして、ワールドインテックは、製造業における深刻な人材不足を重要な社会課題と捉え、「ものづくりを支えるベストアシストカンパニー」として、質の高い技術者の育成を通じてお客様の生産性向上と安定稼働を支えるとともに、地域経済の持続的な発展に貢献していくことを使命と考えてまいりました。

その中で、2025年4月、熊本県大津町に最先端の半導体製造装置を備えた実践的研修施設「熊本テクニカルセンター」を開設し、年間500名の技術者育成を目指して半導体人材の育成に取り組んでいます。また、2023年にはインドネシアに送り出し機関「ワールドホウレンソウインドネシア」を設立し、日本で技術を習得したい若者を支援してまいりました。

現在、インドネシアでは人口ボーナス期を迎えており、就職難の社会課題を抱えております。インドネシア現地では日系企業が多く集積しているため、日本で技術を習得したいというニーズが高まっています。

各機関が有する機能を最大限に活用し、インドネシア・九州双方の社会課題の解決を図り、経済発展に繋げることで、新生シリコンアイランド九州の実現に向けた取り組みを加速してまいります。



調印式



SMK Mitra Industri MM2100校

別紙

5機関の役割と目的

- 労働人口過多による若年層の就職難が社会問題となっているインドネシアの工業高校・工業系職業大学と連携し、九州地域における人材不足に対して新たな人材ソリューションの枠組み構築を目指す
- 九州のものづくりにおける人材課題に直接貢献し、地域企業の成長支援から九州全体の経済発展に繋げる



①【人材派遣】ワールドインテック

- <連携の役割> 4機関取り纏め、学生の生活サポート、工場外トラブルの有償サポート
- <課題・ニーズ> 製造業の中小企業向け人材派遣領域への進出(現状は大企業向けが太宗)
- <連携の目的> 中小企業の派遣先拡大

②【政府公認送り出し機関】WORLD HORENSO INDONESIA

- <連携の役割> 日本語教育、選抜、送り出し
- <課題・ニーズ> 日本企業の送り出し先開拓
- <連携の目的> インドネシア国内の就職難対策、帰国人材によるインドネシア経済の発展

③【職業専門高校運営財団】Yayasan Mitra Industri Mandiri

④【工業系職業大学運営財団】Yayasan Mitra Global Mandiri

- <連携の役割> 工業系人材の育成
- <課題・ニーズ> インドネシア国内の深刻な就職難
- <連携の目的> 学生の就職先斡旋(技能実習・特定技能・技人国)

⑤【金融】FFG(将来的にはQ-BASSに提案)

- <連携の役割> 日本側の受け入れ企業紹介、口座開設、外国送金
- <課題・ニーズ> 取引先の人材不足
- <連携の目的> 九州地域の人材不足による社会問題の解決

プレスリリースに関する問い合わせ先

株式会社ワールドホールディングス

広報IR室

TEL:03-3433-6005